

評価結果概要表

【評価実施概要】

作成日 平成19年12月10日

事業所番号	2774600650	評価機関名	特定非営利活動法人
法人名	有限会社 介護センターかがやき		近畿マネジメント・サポート・センター
事業所名	グループホーム かがやき	所在地	大阪市東住吉区山坂5丁目5番14-103
所在地	大阪府柏原市上市三丁目13番16号 電話 072-973-5105	評価調査日	平成 19 年 12 月 7 日
		評価確定日	平成 19 年 12 月 12 日

【情報提供票より】(平成19年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年12月1日
ユニット数	ユニット 2 利用定員数 18人
職員数	19人 常勤 5人 非常勤 14人 常勤換算 13.2人

(2) 建物概要

建物の構造	鉄骨ALC 造り 2階建ての(1階~2階部分)
-------	----------------------------

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額20,000円)		
敷金	無			
保証金の有無	有 250,000円	5年以上は返却なし		
(入居一時金を含む)	償却0~3ヶ月修繕費を除く差額	4ヶ月~5年は10万円返金		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,400円		

(4) 利用者の概要(11月14日現在)

利用者人数	18名	男性	2名	女性	16名
要介護1	1名	要介護2	4名		
要介護3	5名	要介護4	6名		
要介護5	2名	要支援2	0名		
年齢	平均 80才	最低	71才	最高	91才
(5) 協力医療機関名	杉本歯科医院				
医療法人聖心会 大島医院	・ 小路医院				

【外部評価で確認された、この事業所の特徴】

経営理念の展開にあたり、毎月の実践目標を定め毎日の介護の元となるように職員一同で確認するとともに、室内にも掲示して利用者やご家族にも見て頂けるようにしている。職員の勤務交代は1日2交代とし、朝夕の引継ぎの時間を十分確保して、夫々が看取った個人毎の情報が職員間に確実に伝わるようにしている。また、これによって個人記録が更新され、介護計画の改善につながっている。

重点項目①	前回評価での主な改善課題と、その後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	職員の定期的な会議が毎月行われ、情報交換と問題点の確認、対応策の検討が行われるようになっていた。職員の内部研修会も実施されており、また外部研修にも積極的に取り組んでいた。職員の意思疎通も良くなり、毎日を喜びをもって介護に当たっている。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	毎月の会議を通じて介護のレベルアップについて検討を行ってきた。今回の評価に当たっては評価項目について、職員の意見交換をおこない、反省と改善案の検討と作成を実施している。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容、及び、それらを活かした取り組み(関連項目:外部4、5、6)
	第1回を平成19年8月21日に開催、第2回は19年11月22日に開催した。出席者は市役所の担当課職員、地域包括センター長、地区民生委員 家族代表等の出席を得ている。議事はグループホームの活動内容の紹介と、認知症についての説明が主なものとなっていた。今後は地域との交流の活発化を予定している。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7、8)
	家族アンケートでは家族は安心しておられ苦情は無かった。お1人のご家族が、職員がハングル語を学んでジェスチャーとカタコトながらの会話で介護に当たっている様子に感謝しておられた。運営推進会議では利用者の様子と、介護の様子を会議を行いながら見学して頂いている。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	中学校の生徒さんの体験学習を受け入れている。小学校とも交流したいと検討している。地域の掲示板へホームの行事案内の掲示を了承してもらっているので、ホームでの行事に参加を呼び掛けたいと願っている。ホームの建物正面の壁面に柏原市の教育大学・美術部の学生さんにより、グループホームに相応しい壁画を提供して頂き、地区の皆さんに喜んで頂いている。

（ 部分は重点項目です）

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
1 理念と共有					
	1	○ 地域密着型サービスとしての理念 地域の中で、その人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	経営理念は玄関をはじめ各階にも大きく掲示してご家族、職員に知らせている。更に最近では毎月、この理念の実践項目を定めて実行している。		
	2	○ 理念の共有と、日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	経営理念の毎月の実践項目があるので、これを利用者の方々にも知らせて管理者、職員は実行している。		
2 地域との支えあい					
	5	○ 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等の地域活動に参加し、地域の人々と交流することに努めている	既に中学校生の体験学習を受け入れている。更に地域の交流を進めるために地元の了承を得たので掲示板への掲示を計画している。		
3 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○ 評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	運営者、管理者は3回目の今回の評価では、過去の経験を踏まえて職員間で現状を話し合い、今回の自己評価を実施した。		
	8	○ 運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について、報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービスの向上に活かしている	運営推進会議は今年度から始めたばかりで、過去2回の会議内容は、出席者の方々に認知症についての理解と、グループホームの機能や、日常生活状況を知って頂くことが主眼となっていた。3回目以降に期待している。		
	9	○ 市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営者は利用者の散歩も兼ねて、近所の市役所の担当者への挨拶訪問を行っている。		
4 理念を実践するための体制					
	14	○ 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び、個々にあわせた報告をしている	家族との個別の連絡帳を用意している。家族への「ホームたより」を発行し写真を多く掲載している。来訪時には個々に詳しく報告し、また話し合っている。		
	15	○ 運営に関する家族等の意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族アンケートでも何ら苦情は無かったが、運営推進会議にも出席をお勧めしている。日頃の来訪時には面接をおこなって聞き取りをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	9	18	<p>○ 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>		

5 人材の育成と支援

	10	19	<p>○ 職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	○	職員一人ひとりの研修項目を把握し、研修項目の漏れがないように配慮して、全体としてのレベルアップとなるように進めてください。
	11	20	<p>○ 同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて質を向上させていく取り組みをしている</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1 相談から利用に至るまでの関係づくりと、その対応

	12	26	<p>○ 馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し納得した上で、サービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>		ご本人にも遊びに来て頂き、入所をすすめ、詳しく御家族にも説明している。また比較のために地域の他ホームの紹介も行っている。
--	----	----	--	--	--

2 新たな関係づくりと、これまでの関係継続への支援

	13	27	<p>○ 本人と共に過ごし、支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>		職員の利用者への接し方に関する研修を行っている。毎日の申し継ぎ時などで、書棚の書籍名等をあげ、職員の自己啓発を促している。
--	----	----	---	--	---

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1 一人ひとりの把握

	14	33	<p>○ 思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>		利用者との会話を重視し生活歴の聞き取りに努めている。ケアカンファレンスでは利用者の立場に立って検討を行っている。
--	----	----	--	--	--

2 本人がより良く暮らしを続けるための介護計画の作成と、見直し

	15	36	<p>○ チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>		職員の見守り、ご家族との会話、職員同士の情報交換等により利用者の情報を出来るだけ収集するようにしている。職員の勤務は2交代制として、前後の交代時間に看取り結果の申し継ぎを丁寧に実施している。
--	----	----	---	--	---

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○ 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	介護計画の見直し期間ごとに作成されているが、利用者の症状に変化が見られた場合はその都度、計画変更を行っている。		
3 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○ 事業所の多機能性を活かした支援 本人や、家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同一法人の他事業部門(訪問・通所・居宅支援)の職員も含めて意見交換等で、状況に応じた支援を行っている。		
4 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○ かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られた、かかりつけ医と、事業所の関係を築きながら、適切な治療を受けられるように支援している	ご本人が希望されるかかりつけ医師への受診に対応している。		
19	47	○ 重度化や週末期に向けた方針の共有 重度化した場合や、終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびに、かかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	事業所として重度化や、ターミナルの基本方針を定めている。主治医とも相談しながら可能な対応を検討し、ご家族の希望に合わせて柔軟に対応している。		
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1 その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○ プライバシー確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	言葉遣いや態度の指摘と、指導も含めて職員の研修を行っている。プライバシーや個人情報保護に関する内規を定めて指導している。		
21	52	○ 日々の、その人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	施設の業務についての内規を定めているが、入居者への対応を優先するようにしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○ 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の体調や、希望に合わせて臨機の対応を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○ 印	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
	23	57	○ 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している		
			基本の入浴日は定めているが、利用者の体調や希望に沿うようにしている。		

(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援

	24	59	○ 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている		
			日々の楽しみは利用者の自主的な希望に合わせて行い、職員の工夫も加えて行っている。		
	25	61	○ 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりの、その日の希望にそって戸外に出かけられるよう支援している		
			体調や気候に合わせて近隣の外出を行っている。		

	26	66	○ 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中、玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる		
			事業所の方針として、各階と玄関の鍵は掛けないこととしている。		
	27	71	○ 災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	○	近隣の自治会との交流を深めるよう努めてください。
			所内の防災マニュアルを作成し職員に周知している。避難訓練も実施している。		

(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援

	28	77	○ 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている		
			食材店よりメニュー付きで利用している。毎食も含め、個人毎の水分も含む摂取量は把握されている。		

2 その人らしい暮らしを支える生活習慣づくり

(1) 居心地のよい環境づくり

	29	81	○ 居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている		
			毎日、清掃と消毒を実施している。共用室は利用者の好みと季節感のある飾り付けを行っている。		
	30	83	○ 居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている		
			備え付け設備は最少にしておき、利用者は自由に家具類を持込んで自分の部屋として使っている。		